

トップメッセージ



技術と共創で描く 持続可能な社会の実現に向けて

代表取締役社長 遠藤 晋

サステナビリティ経営を推進し、社会に貢献する

当社は、創業以来、時代の変化に合わせて、その時々で求められる触媒を社会に提供することで、人々の豊かさや安心・安全な社会の実現に貢献してまいりました。

当社が創業した1960年代は、高度経済成長期中、国内で石油化学産業の育成が進められていた時期と重なります。石油化学製品を製造するために触媒についても国産化が求められ、当社においても、海外からの最新技術を導入することで、国内製造を開始しました。その

後、医薬品、農薬、電子材料の製造、エネルギーなど様々な分野にすそ野を広げ、社会のニーズに合わせた触媒を提供することで、多くの産業を下支えし、豊かな社会の実現に寄与してきました。

さらに、1970年代には、大気汚染の深刻化が進み、国を挙げて本格的な公害対策が求められる中、その社会的要請に応えるべく、自動車から排出される有害ガスを浄化する触媒の供給を開始しました。以来、年々厳しさを増す排

出ガス規制への対応を進め、より高性能な触媒の研究・開発により、社会全体の環境負荷の低減に寄与してきました。

また、主原料である貴金属は、希少であるばかりではなく、その産出地が特定の国や地域に偏在しているため、原料の安定確保が極めて重要であります。当社は創業以来、使用済み触媒に含まれる貴金属の回収・精製・再利用を行い、資源の有効活用に向けた取り組みを継続してきました。

60年にわたり、当社は、独自の知見と技術開発を積み重ねることで、豊かな社会の実現や環境負荷の低減に貢献し、資源循環にも取り組んできました。

現在、一層深刻化する地球温暖化などの社会課題の解決において、触媒が貢献し得る技術領域は多岐にわたります。当社は、技術と知見を基盤に触媒の可能性を最大限に引き出し、その解決に貢献することが重要な使命であると捉えています。なかでも喫緊の課題である気候変動への対応として、カーボンニュートラル社会の実現に資する技術開発を強化しています。

例えば、CO₂を排出しないクリーンエネルギーとして注目される水素を安全かつ効率的に製造・貯蔵・輸送・利用するうえで、触媒は重要な役割を果たすと期待されており、当社はバリューチェーンを支える触媒技術の開発に取り組んでいます。加えて、アンモニアの活用、CO₂の

資源化(CCU)、グリーンLPガスの合成などは当社の保有技術の応用領域であり、技術革新を進めています。

水素エネルギーの具体的な実装として、燃料電池自動車(FCV)向けに、政府や業界が求める高い要求を満たす電極触媒の開発に注力しています。あわせて、水素やバイオ燃料などの次世代燃料に対応した排出ガス浄化技術の研究など、これまでに培った技術を応用・発展させた新たな触媒の開発を推進しています。その一方で、内燃機関車向けにおいても、さらなる環境負荷の低減に寄与すべく排出ガス浄化技術の高度化を図り、多様な駆動方式に柔軟に対応することで、これからのモビリティ社会の発展を支えていきます。

持続可能な社会の実現に向け、カーボンニュートラルへの取り組みと並び、資源循環への対応も不可欠です。限りある資源を次世代へつなぐため、創業以来培ってきた貴金属の回収・精製技術にさらに磨きをかけ、高効率・高精度な回収プロセスの確立を目指します。

当社は、「化学の力で、持続可能な住み良い地球環境と豊かな社会の実現に貢献します」という理念のもと、今後も、事業活動を通じ環境と調和した持続可能な社会の実現に寄与し、社会から必要とされる企業であり続けるべく、会社全体としてサステナビリティ経営を推進してまいります。

活力ある組織と共創による持続的成長

サステナビリティ経営を推進する上で、最も重要な資産は「人材」です。変化の激しい今の時代においては、既存の枠にとらわれず、未来志向で果敢に挑戦できる人材の育成がこれまで以上に求められています。当社では、社員一人ひとりの意欲と創造性を最大限に引き出す企業風土を醸成し、柔軟な発想から生まれる新規事業や多様なプロジェクトへの挑戦を積極的に後押しすることで、継続的にイノベーションを生み出す体制の構築を進めています。

また、社会課題の解決に向けた技術革新や新たな価値創造を実現するためには、社内の取り組みに加え、お客様をはじめとするステークホルダーの皆様との連携が欠かせません。当社がこれまで培ってきた知見に、ステークホルダーの皆様からの多様な視点や知恵を融合

させることが、新たな技術の創出につながり、一層社会に貢献できるものと考えています。当社は、これからもステークホルダーの皆様と誠実な対話を重ね、互いの強みを生かし合える共創関係を築き、社会課題解決に資する技術革新に取り組んでまいります。

私たちは創業以来、各時代の社会課題と真摯に向き合い、事業活動を通じてその解決に取り組んでまいりました。今後も社会から信頼される企業であり続けるべく、サステナビリティ経営を推進し、ステークホルダーの皆様と共に持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

今後とも、皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。